

差別と偏見と 公衆衛生



現代社会には、さまざまな差別や偏見が今なお、根強く存在する。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）で見られたように、これまでも感染症や東日本大震災における放射線災害など、公衆衛生に関わる場面において、深刻な差別と偏見が起きている。そこで本特集では、改めて差別と偏見のメカニズムに迫るとともに、これまでの事例を通じて、差別や偏見への対応や支援のあり方を考える。

-
- 差別や偏見はなぜ起こるのか？
 - 感染症との共生を考える
エイズにおける偏見・差別と“Living Together”による啓発から
 - 福島第一原子力発電所事故被災者に対する差別
放射線被害への差別と被害矮小化の狭間で
 - 複合災害による差別・偏見がある中での保健師活動
 - 「津久井やまゆり園」入所者殺傷事件に見る、障害者差別・偏見を生み出す背景
 - ハンセン病差別と保健師活動